

資料編

指導と評価の計画

(全20時間)

国立教育政策研究所の単元指導計画のフォームを基にして、評価基準を設定した。個々の児童の学習状況を的確に把握し、指導の改善に生かしたいと考えた。



時間	学習活動 □ねらい ○活動	支援及び指導上の留意点 ○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	観 点			評 価 基 準			評価方法 場面・方法
			関 意 態	思 考 力	気 付 き	A (3)	B (2)	C (1)	
2	1 町の人となかよくなるよう □町の人や仕事の様子に関心をもちお手伝いに行きたい所を決めることができる。 2 ○一学期の探検やこれまでの生活経験を基にして「町の○○さん紹介」を書く。 ○仕事ミニ体験を行い、行ってみたい所ややってみたいと思ったことを書く。	○町の人への関心をもてるよう前回の探検の写真や絵地図を提示しながら「探検クイズ」を行う。 ☆前回の探検で書いたカードを基に、町の人や仕事の様子などを想起させる。 ○お手伝い体験への意欲を高めるために町の人と仲良くなるためにできそうなことを話し合ったり、仕事ミニ体験を行ったりする。 ☆日常の興味関心に基づいて、場所・店（仕事）・人についての情報を紹介し、自分で決められるようにする。	①		町の人や仕事の様子に着目して紹介書いている。	親しい町の人について得意柄など1つ以上の事柄について記述している。	親しい町の人について、得意柄など1つ以上の事柄について記述している。	親しい町の人について、得意柄など1つ以上の事柄について記述している。	紹介カード ・絵や文章で表現している場面 ・記述内容
1	2 お手つだい どんないいことができるかな～しごとをよく知り お手つだいをしよう～ □仕事の様子をもっと知ってお手伝いをするために、町の人や仕事の様子について調べる活動を考え、準備することができる。 1 ○「たんていテキスト」を見ながら調べることを考え、チャレンジカードを書く。 見通し1 2 ○自分の考えた活動を基に、計画を立て、準備をする。	○活動への見通しがもてるよう「たんていテキスト」の活動の視点やヒントを基に活動の内容や方法をチャレンジカードに記入できるようにする。 ☆前時のカードから思いを把握し、対話を通して考えを引き出すようにする。 ○実践への意欲を高めるため、個々の活動を全体掲示用の学び方カードにまとめておく。 ○計画的に準備ができるように活動の順序や必要なものをチャレンジカードに記入できるようにする。 ☆友達が用意したものやあいさつの仕方などの例を示す。	①	②	町の人や仕事の様子について調べる活動や、3種類以上の活動を考えて記述している。	町の人や仕事の様子について調べる活動や、1種類以上を記述している。	町の人や仕事の様子について調べる活動や、1種類以上を記述している。	町の人や仕事の様子について調べる活動や、1種類以上を記述している。	チャレンジカード ・活動を考えている場面 ・問いかけによる発言内容 ・記述内容
3	3 お手つだいにいこうパート① □1回目のお手伝い体験に行き、町の人や仕事について調べたりお手伝いをしたりできる。 ○スーパー、そば店、理容店、農家、図書館、歯科医院、幼稚園、農家へ約束の時刻に合わせて、グループごとに外出させる。 ○お店や農家、図書館、医院の人やそこに集まる人にインタビューなどをして調べたり、お手伝いをしたりする。 ○町の人や働く様子などについて「わかったこと」・「お手伝いできたこと」・「見つけたひみつ（仕事のこつや町の人のおすごいところ）」をチャレンジカードに書く。	○町の人やそこに集まる人などに恥ずかしがらずにインタビューをしたりマナーある行動がとれるよう声かけをする。 ☆やり方をアドバイスし、一緒にあいさつやお手伝いをする。 ○安全な行動の仕方について知らせ注意を喚起するとともに、必要な時に支援できるように担任や教員や保護者（サポート隊）に依頼しておく。 ☆チャレンジカードに記入してある質問事項を確かめさせ、友達と一緒にやってみよう声をかける。 ○調べたことや体験したことのほか自分の考えや感想・予想をチャレンジカードに記入できるように言葉かけを行う。 ☆体験中の様子を友達と話すことで思い起こさせ、書く視点に気付かせる。	③	②	自分から町の人にあいさつしたり話しかけたりしている。	みんなに聞こえる声で、マナーよくあいさつしている。	友達と一緒にあいさつしている。	友達と一緒にあいさつしている。	行動観察 ・町の人とかかわっている場面（サポート隊のコメント）
2	4 また行きたいね お手つだい □1回目のお手伝い体験を振り返って、新たに調べたいことやお手伝いの仕方を考え、準備することができる。 2 ○1回目のお手伝い体験で気付いたことを報告し合ったり、もっと知りたい・やってみたいと思ったことをチャレンジカードに記入する。 ○「たんていテキスト2」を見ながら、お手伝いの仕方や調べる活動を新たに考え、チャレンジカードに書き出す。 見通し2	○お店の人の努力やお客さんのための工夫に着目して新たに調べたいことを考えたり、もってお手伝いができるよう、チャレンジカードの記録を基に、「見つけたひみつ（仕事のこつや町の人のおすごいところ）」について報告し合う場を設ける。 ☆1回目のお手伝い体験で興味をもっていたことを思い起こせるように問いかけを行う。 ○児童の視野や活動が広がるように、提示する活動の視点を見直し、チャレンジカードを用意しておく。 ○新たな活動を考えられるように、もっと知りたい・やってみたいことを活動の視点を基にチャレンジカードに記入できるようにしておく。 ☆1回目のお手伝い体験のカードから様子を把握し、対話を通して考えを引き出す。	①	①	町の人々には仕事の工夫があるというふうに気付いている。	町の人の工夫についてもっと調べたいことや、理由を見つけている。	町の人の工夫についてもっと調べたいことを見付けている。	もっと調べたいことややってみたいことを記述していない。	チャレンジカード ・新たな思いを書いている場面 ・つぶやきや発言内容 ・記述内容
			①	①	町の人や仕事の様子について調べる活動や、3種類以上を記述している。	仕事の工夫を調べお手伝いする活動を、1種類以上を記述している。	仕事の工夫を調べお手伝いする活動を、1種類以上を記述している。	仕事の工夫を調べお手伝いする活動を、1種類以上を記述している。	チャレンジカード ・活動を考えている場面 ・問いかけによる発言内容 ・記述内容

時間	学習活動 □ねらい ○活動	支援及び指導上の留意点 ○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	観点 関 意 態 思 ・ 表 気 付 き	学習活動における具体的評価基準	評価基準			評価方法 場面・方法
					A (3)	B (2)	C (1)	
2	○新たに考えた活動を基に、計画を立て、準備をする。	○次のお手伝いへの意欲を高めるため前回の手伝い体験の時にサポート隊から記入してもらったコメントを紹介する。 ○改善しながら準備ができるよう、1回目に記入したチャレンジカードを参考にさせる。 ☆友達のおすすめ情報を例として示し、前回のものを見直すようにする。	②	お手伝い体験の準備も進んでしている。	新たな活動に向けて、用意するもの・インタビューについて、カードの内容欄をすべて書いている。	新たな活動に向けて、用意するもの・インタビューのうち、1項目をカードに書いている。	友達から言われたことをカードに書いている。	チャレンジカード ・準備をしている場面 ・つぶやきや発言内容 ・記述内容
3	5 お手伝いに行こうパート② □町の人の手伝いにもう一度行き、工夫してお手伝いをしたり調べたりすることができる。 ○お店や農家、図書館、医院など約束の日時に合わせて、グループごとに出かける。 ○お店や農家、図書館、医院の人やそこに集まる人にインタビューをしたりする。 ○町の人や働く様子などについて「わかったこと」・「できたこと」「見つけたひみつ(仕事の工夫・町の人のすごいところ)」をチャレンジカードに書き込む。	○町の人の工夫を発見できるよう、前時のチャレンジカードの内容を確認し、目的をもって活動できるように促す。 ☆1回目にしたお手伝いを思い出させながらやり方を確かめ、友達と一緒に取り組めるよう助言する。 ○安全に行動するよう注意を呼びかけるとともに、担任外教員や保護者(サポート隊)に支援を依頼する。事前の打ち合わせで、1回目の様子と今回の活動予定を伝えておく。 ☆1回目より上手になったことに気付かせながら、工夫していることを認めるようにする。 ○2回目の活動を通して体験したことや調べたこと、1回目と比べて思ったことや考えたことをチャレンジカードに記入できるように言葉がけを行う。 ☆対話をしながら、町の人との会話やお手伝いできたことを振り返らせ、言葉や絵に表せるようにする。	③	町の人の様子に関心をかけようとしている。	相手の立場に合わせた話と話をしている。	自分から町の人に話しかけている。	友達に促されて話しかけている。	行動観察 ・町の人とかわわっている場面 ・つぶやき(サポート隊のコメント)
	○安全に行動するよう注意を呼びかけるとともに、担任外教員や保護者(サポート隊)に支援を依頼する。事前の打ち合わせで、1回目の様子と今回の活動予定を伝えておく。 ☆1回目より上手になったことに気付かせながら、工夫していることを認めるようにする。	②	1回目の経験を生かして、お手伝いのできる。	1回目の経験を生かしたアイデアを出して話し合い、お手伝いしている。	1回目の経験を思い出しながらお手伝いしている。	友達の助けを借りながらお手伝いしている。	行動観察 ・お手伝いの場所で町の人とかわわっている場面 ・つぶやき(サポート隊のコメント)	
	○町の人や働く様子などについて「わかったこと」・「できたこと」「見つけたひみつ(仕事の工夫・町の人のすごいところ)」をチャレンジカードに書き込む。	○2回目の活動を通して体験したことや調べたこと、1回目と比べて思ったことや考えたことをチャレンジカードに記入できるように言葉がけを行う。 ☆対話をしながら、町の人との会話やお手伝いできたことを振り返らせ、言葉や絵に表せるようにする。	②	お手伝いをして、町になつた人や場所がどこに気付いている。	「わかったこと・お手伝いできたこと・見つけたひみつ」など、3つの項目について絵や文で表現している。	「わかったこと・お手伝いできたこと・見つけたひみつ」から、2つの項目について絵や文で表現している。	3つの項目のうち1つだけ書いている。	チャレンジカード ・絵や文章で表現している場面 ・つぶやき ・記述内容
1	6 町のひみつを知らせよう □親しくなった人や好きな場所のことを紹介する方法を考え、町の「ひみつ」を伝えることができる。 ○2回目のお手伝い体験を振り返り、気付いたことを報告し合い、発表会で伝えたいことをチャレンジカードに書く。 ○チャレンジカードを基に、2回目の体験を振り返り、ポスター・新聞などで「町のニュース」に表す。 見通し3 ○作品を発表し合い、メッセージを交換する。	○気付きを深めるために、チャレンジカードの記録や写真を基に1回目と比べながら2回目のお手伝い体験を振り返る。町の人のかかわりに気付けるよう、町の人の工夫を中心に話し合う。 ☆インタビューやお手伝いしたことやできることになったことを基に町の人とふれ合うことの楽しさに気付かせる。 ○取組を振り返られるように、チャレンジカードの中から仕事の工夫・町の人のすごいところ・お手伝いできたことなど「おすすめ情報」に色シールをはり、表したい内容を決めるようにする。 ○表現の工夫(わかりやすさ・楽しさ)に気付けるように例示を提示する。 ☆チャレンジカードを振り返りながら対話し、よく分かった点やがんばったところに気付かせ、表したいものを決められるようにする。	③	町の人たちや様々な場所とかわわって生活するの、自分たちが楽しくなっていることに気付いている。	町の人たちと自分の生活とのかかわりについて、2つ以上記述している。	町の人たちと自分の生活とのかかわりについて1つ記述している。	町の人とのかかわりに気付いていない。	チャレンジカード ・伝えたいことを考えている場面 ・つぶやきや発言内容 ・記述内容
	○取組を振り返られるように、チャレンジカードの中から仕事の工夫・町の人のすごいところ・お手伝いできたことなど「おすすめ情報」に色シールをはり、表したい内容を決めるようにする。 ○表現の工夫(わかりやすさ・楽しさ)に気付けるように例示を提示する。 ☆チャレンジカードを振り返りながら対話し、よく分かった点やがんばったところに気付かせ、表したいものを決められるようにする。	③	町の人のお手伝いや調べたこと、親しくなった人や場所を作品に表すことができる。	お手伝いに行ったり見たり聞いたりしたことを、相手も意識して表現している。 (内容が決められた、わかりやすさ、楽しさの3項目が○。)	お手伝いに行ったり見たり聞いたりしたことを表現している。 (内容が決められた、わかりやすさ、楽しさの1項目が○。)	お手伝いに行ったり見たり聞いたりしたことを、教師に促されて表現している。 (内容が決められた、わかりやすさ、楽しさの項目全部が△。)	作品 ・チャレンジカードの内容を選んでいる場面、表現している場面 ・問いかけによる発言内容	
	○友達や自分のがんばり・活動のよさに気付けるよう、互いの作品へのメッセージを書き交換する活動を取り入れる。 ○第一時に書いた「身近な○○さん紹介」と比べ、学習の広がりや深まりを振り返る。 ☆友達からももらったメッセージの内容を称賛し、友達のよさにも目を向けられるよう言葉がけをする。	②	友達と交流や友達の活動のよさに気付いている。	友達との交流から、新たに「ひみつ」を見付け、自他の活動のよさに気付いている。	友達との交流から、自他の活動のよさに気付いている。	自分や友達の活動のよさに気付いていない。	メッセージカード ・メッセージを書いている場面 ・つぶやき ・記述内容	
1	7 楽しかったね お手伝い □お世話になった方に感謝の気持ちを伝えることができる。 ○お礼の気持ちを文や絵に表す。	○成就感を味わえるよう2回目のお手伝い体験の時にサポート隊に記入してもらったコメントを紹介する。また、支えてくれた町の人やサポート隊の存在に気付けるような問いかけを行う。 ☆お手紙やカード、前時に使った作品など例示し、どんな方法で表すか自分で決められるようにする。	④	町の人にお礼の気持ちを伝え、もつと親しくなろうとしている。	「嬉しかったことや楽しかったこと」を伝える両方を。	「嬉しかったことや楽しかったこと」を伝えている。	伝えたいことを教師に促されて考えている。	作品 ・表現している場面 ・つぶやき ・記述内容

展 開



第1～2時

- (1) ねらい 町の人や仕事の様子に関心を持ち、お手伝いに行きたい所を決めることができる。
 (2) 準備 一学期に出会った人の写真 校区の絵地図 町の人が使っている仕事の道具など 紹介カード チャレンジカード

○学習活動・児童の意識	時間	○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	評価規準 評価方法
1 一学期の探検を振り返りながら「探検クイズ」を行う。 ○一学期の探検でこんなことがあったな。 ○一学期の探検の時にこんなことを教えてくれたよ。 ○あれからこうなっていたよ。 ○へえ、初めて知ったな。 ○もつと知りたいな。	15分	○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援 ○町の一員であるという意識がもてるよう、「自分の家」を作って絵地図にはるようになる。 ○町の人への関心がもてるよう写真や絵地図などを提示しながら一学期の町探検で出会った人に関する「探検クイズ」を行う。 ・どんな場所に行ったのか。 ・学校からどのへんにあったか。 ・どんな人と出会ったか。 ・どんなことをやっていたか。	
2 これまでの生活経験を基にして「身近な○さん紹介」を書いて発表する。 ○うちの近くには、こんな人がいるよ。 ○一緒にこんなことをしたよ。 ○町にはいろんな人がいるんだな。 ○ほかの人も知りたいな。	25分	○いろいろな人とかかわろうとする意欲を高めるため、「身近な○さん」のことを思い出しながら紹介カードを書いたり絵地図にはるようになる。 ○人柄、得意なこと、自分とのかかわりやその人とのエピソードなど書く視点を提示する。 ☆前回の探検で書いたカードを基に、町の人や仕事の様子、そこに集まる人の様子などを想起させる。	町の人や仕事の様子に着目して紹介カードを書いている場面 関・意・態①
3 さらに町の人と仲良くなる方法を話し合う。 町の人となかよくなるう ○もつと話してみたいな。 ○あいさつをすると仲良くなれるよ。 ○もう一度会いに行こう。 ○今度はお手伝いをしよう。 ○どんなことができるかな。	35分	○日常生活において町の人と接する場面を思い起こさせ、町の人と親しくなれそうな方法を話し合うようになる。 ○町の人の仕事についてイメージをもてるように、町の人が使っている仕事の道具や身に着けているものを提示し、さわったり使ったりしてミニ体験をしたりできるようにする。 ○行き先を決める際に選びやすいように、そば店・スーパー・しいたげ農家・理容店・図書館・新聞店・歯科医院・幼稚園について、どんなお手伝いができそうか話し合ったことを板書にまとめていく。 	紹介カード ・絵や文章で表現している場面 ・記述内容 自分なりの思いや願いをもって行きたい場所を決めようとしている場面 関・意・態①
4 お手伝いに行きたい所を決める。 ○「チャレンジカード」に、行きたい場所・やってみようこと・その理由を書く。 ○幼稚園に行きたいな。小さい子がかわいいから。 ○紙芝居を読んであげたいな。	10分	○これからのお手伝い体験に向けて、行き先だけでなく、「こんなことが知りたい・こんなことをやってみよう」と思ったことも記入するよう助言する。 ☆日常の興味関心に基づいて、場所・店（仕事）・人についての情報を紹介し、自分で決められるようになる。	チャレンジカード ・行きたい場所を書いている場面 ・つぶやきや発言内容 ・記述内容
5 本時の学習を振り返り、次時への活動の見通しをもつ。	5分	○次の時間は、自分の活動を考え、準備をしていくこと、その後、実際にお手伝い体験に行くことを伝える。	



第3時

- (1) ねらい 町の人や仕事の様子について調べお手伝いするための活動を考えることができる。
 (2) 準備 町の人や仕事のビデオ チャレンジカード (掲示用・個人用) たんていテキスト 付箋紙 (青・黄) 自己評価用シール

○学習活動・児童の意識	時間	○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	評価方法
1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてをつかむ。 お手伝い いろんなことができるかな ○運ぶのが大変そうだったからお手伝いしたい。 ○役立つお手伝いがしたいね。 ○上手に手伝うために、町の人や仕事のことを知った方がいいよ。 しごとのかつを知り、よろこんでもらえるようなお手伝いをしよう	10分	○自分の目標を意識できるように、前時に記入した「こんなことが知りたい・こんなことをやってみよう」という願いや思いをチャレンジカードにはっておく。 ○町の人や仕事の立場に立ったお手伝いしようとする心構えがもてるように、お手伝いをしたい理由に「喜んでもらえそう、大変だから手伝いたい、小さい子がかわいいから」という意見や、「やってみようけれど、喜んでもらえるかな」「心配だな」という意見を取り上げて、共通テーマを話し合うようになる。	
2 ビデオで仕事場の様子を概観する。 ○仕事場に○などの道具があったよ。 ○○している人がいたよ。 ○お客さんがいたね。 ○月々の時と品物が違うね。	10分	○活動へのイメージをもてるようにするため、仕事場や仕事をしている様子のビデオを見せる。 ・どんなものがあるか ・どんなことをしているか ・どんなものを使っているか ・どんな人がいるか ○やってみよう活動を考える際に参考となるよう、ビデオを見て、気が付いたことを青付箋紙に記入できるようにする。	町の人や仕事の様子調べお手伝いするための活動を考えることができる。 思考・表現①
3 思いや願いを基に自分の活動を考える。 ○仕事の様子やこつについて調べお手伝いする活動を考え、チャレンジカードに書く。 ○おそはをおいしくゆでるにはどうにやるのだろう。 ○新聞店はいつちらしを入れるのかな。 ○インタビューして調べよう。	20分	○自分の活動への見通しがもてるように、「たんていテキスト」の活動の視点やヒントを基に活動の内容や方法を考え、黄色付箋紙に書き、チャレンジカードにはるようしておく。 ○たくさん考えた児童には、4つの観点（やってみよう・考えよう・あらわそう・見つけよう）の中から、書いていない観点について助言し、活動の視点を広げられるようにする。 ☆前時のカードから思いを把握し、対話を通して考えを引き出すようにする。	
4 本時の学習を振り返り、次時への活動の見通しをもつ。	5分	○評価の基準を示し本時の活動を振り返って、チャレンジカードに自己評価させる。 A-銀シール B-青シール C-赤シール ○次の時間は、調べるのに必要な物を考えて、出かける準備をすることを伝える。活動が書けなかった児童には、友だちのものを参考にできるように紹介する。	チャレンジカード ・活動を考えている場面 ・問いかけによる発言内容 ・記述内容

第4～5時

- (1) ねらい 町の人の仕事について調べたりお手伝いをしたりするために、準備をすることができる。
- (2) 準備 チャレンジカード(じゅんぴカード・お出かけカード) 当日の日程表 たんていアイテム(持ち物)一覧表 インタビューカード 試作品(めいし・パッチ) 画用紙 自己評価用シール
- (3) 展開

○学習活動 ・児童の意識	時間	○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	評価規準 評価方法
1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてをつかむ。 お手つだい どんなことができるかな お手つだいにいくじゅんぴをしよう	10分	○実践への意欲を高めるため、個々の活動を全体掲示用の学び方カードにまとめておく。 ○前時に書いた付箋紙を基に、自分の考えた活動を振り返り、お店の人が喜んでくれるもの・仕事のことをよく知ることができるものを考えて、ベスト3を選ぶ。	
2 当日の学習の予定を知り、調べたりお手伝いをしたりする活動に必要なものを考える。 ○自分の考えた活動を基に、必要な持ち物を考える。 ・エプロンを持っていこう。 ・写真に撮ってこよう。 ○同じ場所に行く友達で、約束や持ち物について話し合おう。 ・ふざけないで行動しよう。 ・道路では真に気をつけよう。	20分	○見通しをもって行動できるように、当日の学習の流れや時刻などについて話し、チャレンジカードに記入できるようにしておく。 ○必要なものを考えてチャレンジカードに書き出せるよう「たんていアイテム」を提示する。 ○安全な行動の仕方について考えたり各自の持ち物に補足ができるように、同じ場所に行く友達同士で約束・持ち物などについて話し合う場を設定する。 ○それぞれの場所によって必要な物については、電話で町の人に聞けるようにしておく。	○お手伝いや仕事の様子に関心を持ち、必要な物を用意しようとしている。 関・意・態②
3 個人やグループで考えたものを準備したり作ったりする。 ○必要な物やインタビューカードを準備する。 ・名前を覚えて欲しいな。 ・とよぶさんらしい絵を入れよう。	30分	○内容が正しく伝えられるか、個々のインタビューカードの記述を確認し、必要に応じて助言する。 ○名刺やグループを表すパッチなど工夫して作れるように、作品を紹介しておく。 ☆友達が用意したものやあいさつの仕方などの例を示す。	チャレンジカード ・準備をしている場面 ・つぶやき ・記述内容
4 町の人と接する練習をする。 ○あいさつの仕方やインタビューの仕方を練習する。 ・恥ずかしがらないで大きな声であいさつをしよう。 ・丁寧な言葉で質問しよう。	20分	○礼儀正しい行動がとれるよう、役割演技を行い、町の人と接する際に気を付けたことを確認する。 ○お互いの活動がスムーズにできるよう、協力してグループで練習に取り組むよう促す。 ○礼儀正しく町の人と接することができるよう、道徳との関連を図って指導を行う。	
5 本時の学習を振り返り、次時への活動の見通しをもつ。	10分	○次の時間は、実際にお手伝い体験に行くことを伝える。 ○体験に行ったことをみんなに伝えられるように、「わかったこと」・「お手伝いできたこと」・「見つけたひみつ」を書いてくることを確認する。 ○チャレンジカードを基に、持ち物・約束・インタビューカードなど用意できたか確認し、自己評価を記入させる。	

第6～8時

- (1) ねらい 1回目のお手伝い体験に行き、町の人について調べたりお手伝いをしたりすることができる。
- (2) 準備 チャレンジカード サポート隊との連絡カード(支援してもらった点・コメントが記入してあるもの) お手伝いに必要な物(エプロン・軍手・折り紙など)
- (3) 展開

○学習活動 ・児童の意識	時間	○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	評価規準 評価方法
1 本時の活動を確認する。 お手つだいにいこう パート① 町の人のごとをしらべ、 お手つだいをしよう	10分	○自分の活動について確認するとともに、目的や質問事項が分かりやすいように事前にチャレンジカードを整理して持たせる。 ○危険な行動についての注意事項、グループの日程、学習の目的について確認するとともに、自己評価の基準を示す。	
2 お店や農家、図書館、医院など約束の時刻に合わせて、グループごとに出かける。 ・しっかり行動しよう。 ・あいさつをがんばろう。 ・お手伝いを聞いて進んでやろう。	10分	○安全な行動の仕方について知らせ注意を喚起するとともに、必要な時は支援できるよう担任や保護者(サポート隊)に依頼する。 ○町の人やそこに集まる人などに恥ずかしがらずにインタビューをしたりマナーある行動がとれるよう声かけをする。困ったことや分からないことがあったら町の人にたずねるよう助言する。 ☆あいさつのできない児童には声をかけたり、一緒にあいさつをしたりする。	自分から町の人にあいさつをしたり話しかけたりしている。 関・意・態③
3 お店や農家、図書館、医院の人にインタビューなどをして調べたり、お手伝いをしたりする。 ○自分の考えてきたことを調べ、「わかったこと」をチャレンジカードに書く。 ○町の人に教えてもらいながら、お手伝いをする。 ○お手伝いを通して町の人や働く様子などについて「わかったこと」・「お手伝いできたこと」・「見つけたひみつ(仕事のこつや町の人のすごいところ)」をチャレンジカードに書く。	80分	○お世話になる町の人やサポート隊に、活動の内容や質問事項などを事前に伝え、打ち合わせをしておく。また、今後の学習に生かしてあげるよう、サポート隊の人には、活動の様子を見てもらい、取組についてコメントを記入してもらう。 ○チャレンジカードを見ながらインタビューをしたり、調べたことを記入できるようにしておく。 ☆チャレンジカードに記入してある質問事項を確かめさせ、友達と一緒にやってみよう声をかける。 ○体験の最後に、町の人や働く様子や周りの様子など気が付いたことをことをチャレンジカードに書き足す時間をとる。	行動観察 ・町の人とかかわっている場面 ・つぶやき(サポート隊のコメント) 用件を正しく伝え、町の人の仕事について調べることができる。 思考・表現②
4 学校へ移動する。	10分	○帰りのお礼とあいさつがはっきりした声でできるように言葉がけをする。 ○忘れ物がなにか確認し、帰りの交通安全について注意を喚起する。	行動観察 ・お手伝いの場所で町の人とかかわっている場面 ・つぶやき(サポート隊のコメント)
5 本時の学習を振り返り、感想をもつ。 ○町の人や働く様子などについて「わかったこと」・「お手伝いできたこと」・「見つけたひみつ(仕事のこつや町の人のすごいところ)」をチャレンジカードにまとめ、絵日記を書く。	25分	○調べたことや体験したことほかに、自分の考えや感想・予想をチャレンジカードに記入したり、絵日記に表したりする。 ☆体験中の様子を友達と話すことで思い起こさせ、書く視点に気付かせる。 ○1回目の体験を振り返り、自己評価を記入させる。 ○事後、町の人に今回の体験についてのお礼と活動の様子、2度目の体験に向けて改善した方がよいところなどを伺い、学習活動の参考とする。	出会った町の人や仕事の様子に気付いている。 気付き① チャレンジカード ・絵や文章で表現している場面 ・つぶやき ・記述内容


第13～15時

- (1) ねらい 2回目の町の人のお手伝い体験に行き、工夫してお手伝いをしたり調べたりすることができる。
- (2) 準備 チャレンジカード サポート隊との連絡カード(支援してもらう点・コメントが記入してあるもの) お手伝いに必要な物(エプロン・軍手・折り紙など)
- (3) 展開

○学習活動 ・児童の意識	時間	○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	評価規準 評価方法
1 本時の活動を確認する。 お手っだいに行こう パート② くふうして町の人のお手伝いをしよう	10分	○目的をもって取り組み町の人の工夫が発見できるように活動を 確認する。自分の活動や質問事項が分かりやすいように事前に チャレンジカードを整理して持たせる。 ○危険な行動についての注意、グループの日程、学習の目的につ いて確認するとともに、自己評価の基準を示す。	町の人の様子に関 心をもち話しかけ ようとしている。 関・意・態③
2 お店や農家、図書館、医院など約束の日時に 合わせて、グループごとに出かける。 この間より大きな声で挨拶しよう。 ・進んでお手伝いをしよう	10分	○安全に行動するよう注意を呼びかけるとともに、必要な時は支 援できるよう担任教員や保護者(サポート隊)に依頼する。 ○自主的に活動できるようグループで協力して取り組むよう促す。 ☆進んで町の人に声をかけられない児童には、1回目にしたお手 伝い体験を思い出させながらやり方を確かめ、友達と一緒に取 り組めるよう助言する。	行動観察 ・町の人とかかわっ ている場面(サポ ート隊のコメント)
3 お店や農家、図書館、医院の人やそこに集ま る人にインタビューなどをして調べたり、お 手伝いをしたりする。 ○自分の考えてきたことを調べ、「わかったこ と」をチャレンジカードに書く。 ○工夫してお手伝いをする。 ○お手伝いを通して町の人や働く様子などにつ いて「わかったこと」・「お手伝いできたこと」 ・「見つけたひみつ(町の人のお工夫・すごい ところ)」をチャレンジカードに書く。 スーパー	80分	○1回目の様子と今回の活動の予定をサポート隊の人に事前に伝 え、打ち合わせしておく。また、活動の様子 を見せ、取り組むことについてコメントを記入し てもらう。 ○チャレンジカードを見ながらインタビューを したり、調べたことを記入できるようにして おく。 ☆1回目より上手になったことに気付かせなが ら工夫していることを認めるようにする。 し ○体験の最後に、町の人のお工夫すごいところな だ農 などが付いたことをことをチャレンジカ ードに書き足す時間をとる。	1回目の経験を生 かして、お手伝い をすることができる。 思考・表現②
4 学校へ移動する。	10分	○帰りのお礼とあいさつがしっかりとできるように言葉がけをする。 ○忘れ物がなければ確認し、帰りの交通安全について注意を喚起す る。	お手伝いをして、 町には親しくなっ た人や場所がで きたことに気が ついている。
5 本時の学習を振り返り、感想をもつ。 ○町の人や働く様子などについて「わかったこ と」・「お手伝いできたこと」・「見つけたひみ つ(町の人のお工夫・すごいところ)」をチャ レンジカードにまとめ、絵日記を書く。	25分	○2回目の活動を通して体験したことや調べたことのほかに、1 回目と比べて思ったことや考えたことをチャレンジカードに記 入できるように声をかける。 ☆対話をしながら、町の人との会話やお手伝いできたことを振り 返らせ、言葉や絵に表せるようにする。 ○2回目の体験を振り返り、自己評価を記入させる。 ○事後、町の人に今回の体験についてのお礼と、活動の様子を伺 い、学習活動の参考にする。	チャレンジカード ・絵や文章で表現し ている場面 ・つぶやき ・記述内容

第16時

- (1) ねらい 2回目のお手伝い体験で気付いたことを話し合うことを通して、町の人々や様々な場所とかかわって生活すると自分たちの生活が
楽しく豊かになることに気付くことができる。
- (2) 準備 チャレンジカード 2回目のお手伝い体験の写真


○学習活動 ・児童の意識	時間	○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	評価規準 評価方法
1 本時のめあてをもつ。 町のひみつを知らせよう 見つけたことをおしえ合おう	5分	○活動中の写真から、がんばったことや楽しかったことを思い出さ せる。 ○2回目にならなくなったことや上手になったことに気付ける よう、チャレンジカードの記録を基に1回目のお手伝いと2回目 のお手伝いを振り返る。	
2 二人組で報告会をする。 ○他の場所に行った友達と二人組になり、自分 の気付いたことを話したり、友達の話を聞いて 質問したりする。 ・お手伝いが上手にできたよ。 ・○○さんは、こんな工夫をしていたよ。 ・○○では、こんなことができるよ。	10分	○自分の場所と友達の場所の二カ所で比較できるように、二人組 で話せる場を設定する。 ○一人対一人で友達と話すことにより、質問がしやすいようにする。 話す人；チャレンジカードの中から、「おすすめ情報」を選び、 伝えるようにする。 聞く人；自分と同じ所・自分と違う所を考えながら聞くようにす る。	
3 全員で交流する。 ○町の人工夫について話し合う。 ・とこやさんは髪の毛を切るのにいろんな 切り方をしていたよ。朝8時から夜7時 まで3人でやっているよ。大変だね。 ・A店では、たくさんの店員さんが分かれ て仕事をしているよ。広いからだよ。 ・とこやさんは、お客さんが来てくれるか らやりがいのある仕事って言うていたよ。 ・やりがいのある仕事ってどういうことだ う？	20分	○多人数で交代で仕事をしているお店と少人数で専門的な仕事をし ているお店を比較して、それぞれのお店のお店の工夫やお店の人の仕事 への姿勢などについてまとめる。 ○町の人々の温かさや町のよさ、自分とのかかわりに気付けるよう 、他の場所での共通点や相違点を取り上げていく。 ・お客さん、患者さん、園児のために工夫していること(自分と のかかわり) ・努力していること ・仕事への姿勢、気持ち ・町の人の人柄(親切、 優しさ)	町の人たちや様々 な場所とかかわ って生活すると、自 分たちの生活が楽 しくなることに気 がついている。 気付き③
4 本時の学習を振り返り、次時への活動の見通 しをもつ。 ○発表会で家の人に伝えたいと思ったことをチ ャレンジカードに書く。 ・お店の人たちは、お客さんが喜んでくれ るようにたくさん工夫していたよ。 ・もっと上手にできるように練習もしてい るよ。 ・町の人が親切に教えてくれたので、上手 にお手伝いができるようになったよ。い ろんなことが分かったよ。	10分	○発表会でどんなことを 知 らせたか、自分なりの思いをカードに書けるようにしておく。 町の人たちの工夫や町のよさ、町の人と過ごした楽しさなど、書 く視点を示すようにする。 ☆インタビューやお手伝いしたことを思い起こさせ、見つけたこと やできるようになったことをもとに町の人とふれあうことのよさ に気付かせる。 ○次時は、町の人のことを知らせる「町のニュース」を作っていく ことを伝える。	チャレンジカード ・伝えたいことを考 えている場面 ・つぶやきや発言内 容 ・記述内容

第17～18時

(1) ねらい 町の人のお手伝いに行き見て聞いたりしたことをまとめ、工夫して表現することができる。

(2) 準備 チャレンジカード 「町のニュース」を書く用紙 掲示用広告 写真 色ペン 自己評価の紙

(3) 展開


○学習活動 ・児童の意識	時間	○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	評価規準 評価方法
1 本時の活動を確認する。 町のひみつをまとめよう	5分	○お手伝いに行き見て聞いたりしたことを家の人に伝えようとする意欲を高めるために、1回目のサポート隊の方からのビデオメッセージを見せる。	 <p>町の人のお手伝いや調べたこと、親しくなった人のことを作品に表すことができる。 思考・表現③</p> <p>作品 ・チャレンジカードの内容を選んでいる場面、表現している場面 ・問いかけによる発言内容</p>
2 チャレンジカードを基に表したい内容を選ぶ。 おそはやさんのおいしいひみつを教えよう。 親切な○○さんのことを書きたいな。	15分	○これまでのチャレンジカードを基に、町の人のお手伝い・仕事の工夫・お手伝いさせてもらったことを「おすすめ情報」として、印をつけさせる。 ○「町のニュース」を作りながら、付け足しや変更をしてもよいことを伝える。	
3 「町のニュース」に表す方法を考える。 一番のおすすめ情報を自立つくりしよう。 楽しく読んでもらいたいな。絵を工夫して作ろう。	10分	○作りたいもののイメージがもてるように、例示を用意しておく。 ○相手を意識した表現の工夫に気付けるように、2通りのポスターを提示し、特徴を考える。 ※わかりやすさ ・見やすさ（文字の大きさとタイトル） ・町のひみつの強調（色） ※楽しさ ・型どり ・写真、イラスト	
4 「町のニュース」を作る。 おいしいひみつは、ほかにもあったな。 お手伝いするとき、こんなこともやったな。おうちの人に教えよう。 この間行ったら、こんなことも分かったよ。	55分	○チャレンジカードに印をつけたものだけでなく、書きながら思い出したことや新たに気付いたこと、自分の感想などを付け足すよう助言する。 ○同じ場所に行った友達と教え合ったり情報交換をしたりして書きたい内容について確かめてもよいことを伝える。 ○表現を工夫していきよう、例示を参考に個々に助言をする。 ☆1回目と2回目の体験の後に書いたチャレンジカードを振り返りながら対話し、よく分かった点やがんばったところに気付かせ、表したいものを決められるようにする。	
5 本時の学習を振り返り、次時への活動の見通しをもつ。	5分	○内容・わかりやすさ・楽しさの観点から自己評価し、本時の学習を振り返る。 ○次時は、発表会を開くことを伝える。	

第19時

(1) ねらい 「町のニュース」を発表し合うことを通して、自分や友達の活動のよさに気付くことができる。

(2) 準備 チャレンジカード 作品 メッセージカード 自己評価カード

(3) 展開


○学習活動 ・児童の意識	時間	○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	評価規準 評価方法
1 本時の活動を確認する。 発表会をひらこう	5分	○発表会でお互いに新たな発見ができるよう、話し方・聞き方のポイントを全員で確認する。	 <p>友達と交流し、自分や友達の活動のよさに気付いている。 気付き②</p> <p>メッセージカード ・メッセージカードを書いている場面 ・つぶやき ・記述内容</p>
2 「町のニュース」を発表し合う。	30分	○声の大きさや早さについて発表するグループに適宜助言を行う。 ○友達の作品のよい所やお手伝いがんばった所をメッセージに書きながら友達の発表を聞かせるようにする。 ○友達の活動のよさに気付いた意見を取り上げ、みんなで共感できるようにする。	
3 メッセージ交換をする。 ニュースが上手に書けていたよ。 お手伝いがとてもよくできたんだね。 ○○さんは、すごだね。今度お店に行ってみよう。	5分	○自分では気付かなかった自分の活動に対するよさが見付けられるよう、友だち同士でメッセージを交換する場を設ける。 ☆友達からももらったメッセージの内容を称賛し、友達のよさにも目を向けられるように言葉がけをする。	
4 本時の学習を振り返り、次時への活動の見通しをもつ。	5分	○発表会を振り返り、自己評価を記入させる。 ○次時は、お世話になった方へお礼の気持ちを表すものを作ることを伝える。 ○他のクラスの人にも見てもらえるように作品を掲示する。	

第20時

(1) ねらい お世話になった方に感謝の気持ちを伝えることができる。

(2) 準備 チャレンジカード お手紙カード

(3) 展開

○学習活動 ・児童の意識	時間	○指導上の留意点 ☆特に、配慮を要する児童への支援	評価規準 評価方法
1 本時のめあてをもつ。 楽しかったね お手紙だい お世話になった方にお礼の気持ちを伝えよう	5分	○これまでの学習に対する成就感を味わえるよう、2回目のお手伝い体験の時にサポート隊に記入してもらったコメントを紹介する。 ○第1時に書いた「身近な○○さん紹介」と比べ、学習の町の人と仲良くなったり親しくなった人が増えたことに気付かせる。	 <p>町の人にお礼の気持ちを伝え、もっと親しくなろうとしている 関・意・態④</p> <p>作品 ・表現している場面 ・つぶやき ・記述内容</p>
2 お礼の気持ちを文や絵に表す方法を考える。 ていねいに手紙を書こう。 絵、ポスター、折り紙を作ろう。	5分	○だれに、どんな方法で伝えるか考えられるよう、支えてくれた町の人やサポート隊の存在に気付けるような問いかけを行う。	
3 お礼の気持ちを文や絵に表す。 いろんなことができるようになりました。 親切に教えてくださってありがとうございます。 今度は図書館に本を借りに行きます。 手紙に○○さんの好きな絵を一緒にかいておこう。	35分	○第16時で話し合った町の人への姿勢・気持ち、お客さん・患者さん・園児のために工夫していること（自分とのかわり）、努力していること、町の人の人柄（親切、優しさ）についてまとめたものを基に、想起させる。 ○楽しかったことや嬉しかったこと、お手伝いをしてよかったこと、これからやってみたいことなど伝える内容について視点を示す。 ○工夫しているところや表現のよいところを認め、励ます。 ☆お手紙やカード、前時に使った作品など例示し、どんな方法で表すか自分で決められるようにする。	
4 作った作品を届ける。	事後	○朝の会や帰りの会などで、町の人のお話を取り上げる。	



たんていテキスト

1回目

ヒントカード

	ホッフ	ステッフ	ジャンフ
やっみてよう	すすんでやろう	じっくりやろう	なかよくやろう
考えよう	ちがいは? おなじところは?	どうやって?	なんでだろう?
あらわさう	しょうごを あつめよう	きろくしよう	話し合おう
見つけよう	色 形 音 手ざわり においを 見つけよう	どれくらい? かぎを 見つけよう	びっくり! しごとのひみつを 見つけよう

	ホッフ	ステッフ	ジャンフ
やっみてよう	かんさつしてみよう まねしてみよう 作ってみよう	みんなにせつめ いできるくらい 見よう 考えよう やろう	友だちとそうだ んすると いいよ いっしょにやっ てみよう
考えよう	6月とくらべて どうかな? ほかのお店と くらべて?	どうに すすめるのかな。 どうに うごくのかな。	どうしてある の? なんのためにや るのかな。
あらわさう	目・耳・はな・手 ・口をつかってみ よう 本でしらべてみよ う インタビュー もいいね	メモや絵、図 しゃしん、音で きろくしよう	お店の人や おきゃくさんと 話してみよう 声の大きさや ひょうじょうも だいじだよ
見つけよう	どうぐや ざいりょうなど 削・よこ・うしろ を じーと見よう	かぞえてみたり、 はかってみたり するといいよ。	しごとのこつや わざ、町の人の すごいところを 見つけよう

たんていテキスト・ヒントカード



2回目

たんていテキスト2

ヒントカード2

	ホッフ	ステッフ	ジャンフ
やっみてよう	すすんでやろう	ていねいに やろう	きょうりよくして やろう
考えよう	ちがいは? おなじところは?	どうにやるの?	なんのために? なんでだろう?
あらわさう	しょうごを あつめよう	きろくしよう	話してみよう
見つけよう	色 形 音 手ざわり においを 見つけよう	どれくらい? かぎを 見つけよう	びっくり! しごとのひみつを 見つけよう

	ホッフ	ステッフ	ジャンフ
やっみてよう	かんさつしてみよ う まねしてみよ う そのばしょに あつたらいいもの を作ってみよう	みんなにせつめ いできるくらい 見よう 考えよう やろう	友だちと そうだんすると いいよ 力を合わせて やろう
考えよう	ほかのお店と くらべて? 休みややっている 時間はちがうの? どうして?	どうにつかうの かな。 どうするとま くできるかな。	なんのためにあ るの? なんのためにや るのかな。
あらわさう	目・耳・はな・手 ・口をつかってみ よう 本でしらべてみよ う インタビュー もいいね	メモや絵、図 しゃしん、音で きろくしよう しごとばにある ものもカジャ!	おきゃくさんに もインタビュー ー! 声の大きさやひ ょうじょうも だいじだよ
見つけよう	しごとばのようす やはたらく人のふ くそう、かんばっ ているところを じーと見よう	かぞえてみたり、 はかってみたり するといいよ。 なん? なん年?	しごとのこつを ゲット! おきゃくさんの ためにしている ことは、100 ハエ。

チャレンジカード

見よう 考えよう やってみよう!

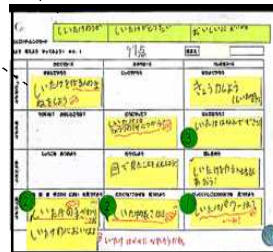


1

前時に書いた思い・願い ①

思いや願いから活動を考える

	ホップ	ステップ	ジャンプ
やってみよう	すすんでやろう	じっくりやろう	なかよくやろう 活動 ②
考えよう	ちがいは? おなじところは?	どうやって?	なんでだろう?
あらわそう	あつめよう	きざしよう	話し合おう
見つけよう	色 形 音 手ざわり においを見つけて	どれがいかがずを見つけて	びびり!しごとのひみつ を見つけて



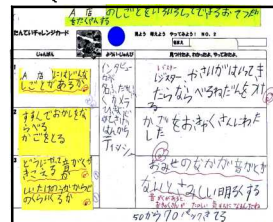
5

2

② ベスト3を選択後 考えた問題

- ① 活動を選択
- ② 問題を考える
- ③ 計画を立てる
- ④ 考えたことを記録する

	ベスト3	よえいひんび	見つけよう わかづえい やってみたい
1	活動 ①	③	④
2			
3			



6

3

行こう

行く日
月 日()

時間
しゅじょう
けんかくおそつじ
じょうじ

よてい

① わかづえいこと、こんなものがあつめよう、こんな人があつめよう



- ① 計画、準備をする (左半分)
- ② 考えたことを記録する (右半分)

- 1 あつめ
- 2 しゅべいこととあつめの人を話ししるべききする
- 3 おそつじ
- 4 わかづえいことをききする
- 5 あつめ

② おそつじでできたことは? やってみたいことは?



やくそく

③ 見つけようひみつ

こんなことのがつめよう

あつめよう
あつめよう
あつめよう



7

4

月 日 よう日

名まえ

体験後の振り返り

お手伝いに行
ったよ



8

サポート隊による活動記録表

サポート隊：保護者・教師

「町となかよし！」～ お手伝いに行こう パート① ～

観察者名 () 平成 年 月 日

行き先

(1) ◎○△印をつけてください。

項目	名前			
①あいさつができていましたか ◎みんなに聞こえる声でマナーよくあいさつできた ○友達と一緒にできた △周りの人に促されてできた				
②見たり聞いたりできていましたか ◎自分の活動について調べ、さらに質問もできた。 ○自分の活動について話し調べられた △遊んだりはずかしがったりして調べられなかった				
③記録できていましたか ◎絵や文でたくさん書けた。 ○絵や文で書けた △言われてから書いていた				
④人に迷惑にならないように行動できていましたか ◎友達にも声をかけて、安全など気をつけて行動できた ○安全に気をつけたり迷惑にならないように行動したりできた △危ないことや迷惑をかけてしまうことがあった				

(2) コメント：子どもたちの様子やがんばっていたことなどを記入してください。

名前	活動の様子

(3) アドバイス：そのほか、活動の中で気づいたことがありましたら記入してください。
